

原因・背後要因を明らかにし 命を守る運行体制の確立を

申1号・磐越西線で発生した事象を踏まえた安全・安定運行を求める緊急申し入れ

8月4日早朝、磐越西線の東下条〜五十島駅間に於いて、レール締結装置が16箇所外れていることを点検作業中の社員が発見し、警察の出動を要請するなど状況調査が行われ、幸いにも列車の脱線・転覆などに至ることはありませんでした。列車の安全・安定輸送を脅かす重大な事象であるとの認識です。

新潟地本は8月16日、本事象の原因及び背後要因を明らかにし、再発防止策を講じた社員・お客さまの命を守る運行体制を確立することを求め、申1号「磐越西線で発生した事象を踏まえた安全・安定運行を求める緊急申し入れ」



8月4日早朝、磐越西線の東下条〜五十島駅間に於いて、レール締結装置が16箇所外れていることを点検作業中の社員が発見し、警察の出動を要請するなど状況調査が行われ、幸いにも列車の脱線・転覆などに至ることはありませんでした。列車の安全・安定輸送を脅かす重大な事象であるとの認識です。

新潟地本は8月16日、本事象の原因及び背後要因を明らかにし、再発防止策を講じた社員・お客さまの命を守る運行体制を確立することを求め、申1号「磐越西線で発生した事象を踏まえた安全・安定運行を求める緊急申し入れ」

提出しました。

本部申1号を申し入れ 施策の目的に沿った運用が実現できているのか 新たなシヨローションの成果と課題を検証

中央本部は、昨年4月1日より実施された「変革2027」を踏まえた新たなシヨローションについて全組合員で検証の取り組み行ってきました。

施策の目的である「社員が多様な経験を積むことにより安全・サービスレベルを向上させる」とした視点を留まらず「変革2027」でめざす「社員・家族の幸福の実現」や「キャリアアップ」など様々な視点から検証を行ってきま

その中で、安全に直結する

を検証する申し入れを提出しました。

■申8号申し入れ項目

1. 「新たなシヨローション」の実施によって、全社員がキャリア形成を描くとした目的における成果と課題を明らかにすること。
2. 「新たなシヨローション」実施後、「同一シヨローション」実施後、「同一シヨローション」実施後、最長でも概ね10年を超えないように異動又は担当変更を行う」とした成果と課題を明らかにすること。
3. 「新たなシヨローション」実施後、人事異動において社員の仕事と生活の両立に対する成果と課題を明らかにすること。
4. 「新たなシヨローション」実施後、安全レベルを向上するといった目的において、運転士の人事異動による成果と課題を明らかにすること。
5. 「新たなシヨローション」実施後、車掌試験、運転士試験、新幹線運転士試験を廃止し、任用の基準で異動又は担当変更を柔軟にできるとした成果と課題を明らかにすること。
6. 「新たなシヨローション」実施後、運転士及び車掌の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一したことによる成果と課題を明らかにすること。



新たなシヨローション実施から一年 夢や希望が叶った社員がいる一方で、寄せられる現場での不満と不安の声

変革2027を踏まえた新たなシヨローションが昨年4月に実施され1年が経過しました。新潟地本にはその運用について様々な実態や声が寄せられています。

現場での運用における社員の姿

「シヨローション」の異動です。「順番です」としか語らない現場長もいる。社員個々のスキルや経験など関係なく「前にいた職場には戻さない」という本社の考える施策からの逸脱ではないか。

乗務員が乗務員に矢印を向けてしまふ職場風土

「まだ見習をやっているのか」と見習乗務員に矢印

を向ける乗務員もいる。

初めの線区、車種、異なる運転取り扱いの中で、懸命に見習いをしていく中で「早く一本に」というプレッシャーを陰に陽に感じる。

希望ではない異動によって「通勤時間が増えた」「単身赴任になる」という不満や「どこに持ち家を構えればよいのか定まらない」という将来の不安がある。自宅からの通勤困難者が増加している。

赤字下、コロナ禍を度外視した運用

異動先で新規養成と重複し見習いが多数発生して三密状態にある。車種転

換を度外視した運転士の異動により各現場では勤務作成に苦戦し効率的な勤務作成が困難になっている。切れ目のない見習への教育業務に追われ指導担当の業務量が增大している。

新潟支社管内は、新幹線からSL、そしてワンマン運転と多くの車種、多くの線区があります。また四季の変化がとてもしんどい地域です。

本社が掲げた「新たなシヨローション」が「人事異動すること」だけに形骸化している実態はありませぬか?

安全の確保、サービス向上、確かな技術継承の確

経営側から5月に提案を受けた「現業機関における柔軟な働き方の実現」に対して、東日本ユニオンは全組合員で議論を重ねてきました。

そのような中「大まかなイメージが湧かない」「職場における会社説明は検討中ばかりで実像が見えない」等の意見が多く寄せられています。

社員一人ひとりの働き方や業務内容が大きく変わり出しました。

乗務員個々の培ったスキル潰し

車種、線区、土地勘などの技術や知識など一切を度外視し異動だけが目的化していないか。経験豊かな運転縦資格が無駄と

「現場での運用における社員の姿」

「シヨローション」の異動です。「順番です」としか語らない現場長もいる。社員個々のスキルや経験など関係なく「前にいた職場には戻さない」という本社の考える施策からの逸脱ではないか。

乗務員が乗務員に矢印を向けてしまふ職場風土

「まだ見習をやっているのか」と見習乗務員に矢印

を向ける乗務員もいる。

初めの線区、車種、異なる運転取り扱いの中で、懸命に見習いをしていく中で「早く一本に」というプレッシャーを陰に陽に感じる。

経営側から5月に提案を受けた「現業機関における柔軟な働き方の実現」に対して、東日本ユニオンは全組合員で議論を重ねてきました。

そのような中「大まかなイメージが湧かない」「職場における会社説明は検討中ばかりで実像が見えない」等の意見が多く寄せられています。

社員一人ひとりの働き方や業務内容が大きく変わり出しました。

